

第96回〔2020年度〕日本選手権水泳競技大会〔アーティスティックスイミング〕および
日本アーティスティックスイミングチャレンジカップ2020
監督者会議 資料

公益財団法人 日本水泳連盟
競技委員長 鈴木 浩二
A S 委員長 本間 三和子

大会の参加にあたって

- (1) 各所在地の自治体・職場・学校から、移動制限等の要請が出ていないか、最終確認を行うこと。
- (2) 入館前2週間において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。出発前に入館者全員に該当がないか確認しておくこと。
 - ・平熱を超える発熱
 - ・咳(せき)、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・だるさ(倦怠感)息苦しさ(呼吸困難)
 - ・臭覚や味覚の異常
 - ・体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (3) クラブ責任者は健康チェック表を入館者全員が持参しているか確認すること。提出できない場合は入館できない。
必ず責任者が選手ならびに来場者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。未記入の場合、入場を断る場合がある。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
- (4) マスクを着用していない者は入館を認めない。
- (5) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (6) 以下のものについては、持ち込み禁止とする。
 - ・チーム共有のドリンクサーバー
 - ・マッサージベッド、アイシングバス、トレーニングバイク等
 - ・メガホン、横断幕、のぼり
 - ・共有で使用するストレッチマット(個人専用は持ち込み可)
 - ・チーム共有のチューブ、バランスボール等の運動用具(個人専用は持ち込み可)

1 競技について

- (1) 本大会は日本水泳連盟諸規則および本大会競技要項に基づいて行う。安全・感染防止を最優先とし、日本選手権および日本アーティスティックスイミングチャレンジカップ2020(以下「チャレンジカップ」という)同時開催を円滑に進行させることを目的として、競技規則を一部変更、省略して実施する。
- (2) 全て単独のイベント(競技)として決勝のみとし、予選は行わない。
- (3) 全ての競技は100点満点とする。
- (4) 全ての競技にプレスイマーはない。

- (5) テクニカルルーティン競技はチャレンジカップ、日本選手権の順に実施する。その際、若干の間をとる予定。
- (6) 競技中、コーチは1エントリーにつき2名までコーチ席に立つことができる。補欠選手はコーチ席に立つことはできない。コーチ席エリア（本部席側）では密接にならないよう間隔をあけて立ち、演技を確認すること。
- (7) 本人確認のため、招集所にADカードを持参すること。招集所では十分な間隔を空けて並ぶ。招集所まではマスク着用のこと。（マスク保管用にクラブ名・名前が入った袋を各自用意すること。）
- (8) 招集所で点呼を受け、指示に従いADカードを提出し、マスクはコーチが保管する。選手はひとつ前の演技・音楽の終了時に、スタート位置へ移動して待機する。
- (9) 出場順の通告によりウォークオンを開始する。
- (10) 演技終了後、本部席の反対側から退水し、速やかにステージ側で暫定得点を聞く。
- (11) 得点確認後、サブプール側に移動する。
- (12) 演技後、報道係員より要請があった選手はインタビューを受けること。
- (13) 競技中に発生した事項に関する抗議は、その競技終了後に発表される正式結果の時刻から30分以内にチーム責任者が、文書で審判長（レフリー）に提出する。
- (14) 本大会は上訴審判団を設置する。
- (15) 本大会は、JADAによるドーピング検査の対象となるので、常にADカードを携帯すること。

2 資格の確認、出場順の抽選、オープン参加、登録情報の確認について

- (1) 申込者全員の資格の確認：済み。
- (2) 出場順の抽選は11月3日ホームページに掲載した「お知らせ（重要）」の通り、11月11日（水）の監督者会議に先立ち、AS13.7に基づき、審判長立ち合いのもと会場で行う。抽選は出場選手名と出場順を記載した紙の引き合わせで行う。男子のソロは一番最後に抽選する。抽選の様子はビデオ記録として残し、確認したいクラブには現地でビデオ記録をクラブ責任者に開示する。希望する責任者は監督者会議にて申し出ること。
- (3) 抽選結果は17:00までに、暫定のスタートリストをホームページへアップする予定。会場内の公式掲示板にも掲示する。
- (4) JAPAN チームが日本選手権ソロテクニカル、デュエットテクニカル、デュエットフリー、チームテクニカル、チームフリーにオープン出場する。出場順抽選には含むが、ランキングには含まない。
- (5) プログラムの訂正は監督者会議にて申し出ること。
- (6) 監督者会議時に配布するSEIKOリザルトシステムの登録情報を必ず確認し、11月12日（木）8:30までに受付のエントリーボックスへ提出すること。訂正がある場合は赤字で訂正をして提出すること。訂正がない場合も提出すること。以後の訂正は受け付けない。
- (7) エントリー時に補欠登録をした種目については、メンバー変更の有無に関わらずエントリーメット時刻（競技開始2時間前）に、所定の用紙を受付のエントリーボックスに提出すること。
- (8) 棄権する場合は、エントリーメット時刻に所定の用紙を受付のエントリーボックスに提出すること。エントリーメット時刻を過ぎて棄権する場合、速やかにレフリーに届け出ること。

3 ドーピングコントロール

- (1) 本大会のドーピング検査については大会ホームページにアップされた以下の資料を確認すること。

20AS 監督者会議 AD 資料
 20-1<アンチ・ドーピングガイド>
 20-2<TUE ガイド>

- 20-3<担当医師へのお願い>
- 20-4<いつでも使える薬の例>
- 20-5<ドーピング啓蒙ポスター>
- 20-6<ドーピングホットライン>

4 表彰について

- (1) 表彰式は行わない。ただし、上位3位については、正式結果発表後にインタビューコーナーで記念写真撮影を行う。
- (2) 日本選手権は各種目とも1位～3位にメダルならびに賞状を授与し表彰する。4位～8位は賞状を授与する。(実際に泳いだ選手にのみ賞状・メダルを授与する)
- (3) チャレンジカップは各種目1位～3位を表彰する。(ルーティンを泳いだ選手のみ表彰する)
- (4) メダル、賞状の受け渡しは正式結果発表後の記念撮影時に行う。

5 全体スケジュール

- (1) 競技時間：詳細時間はホームページ「競技時間(予定)」参照

11月			
11日(水)	10:00～17:30 公式練習(指定時間)		18:00 監督者会議
12日(木)	10:00 ハイライトルーティン (チャレンジカップ・日本選手権混合)	13:00 チーム TECH (チャレンジカップ)	16:30 フリーコンビネーション (チャレンジカップ・日本選手権混合)
		チーム TECH (日本選手権)	
13日(金)	10:30 チーム FREE (チャレンジカップ・日本選手権混合)	15:10 デュエット TECH (チャレンジカップ)	
		デュエット TECH (日本選手権)	
14日(土)	10:30 デュエット FREE (チャレンジカップ・日本選手権混合)	15:05 ソロ TECH (チャレンジカップ)	
		ソロ TECH (日本選手権)	
15日(日)	9:55 ソロ FREE (チャレンジカップ・日本選手権混合)	14:00 男子ソロ TECH (チャレンジカップ)	15:00 男子ソロ FREE (チャレンジカップ)

※テクニカルルーティンはチャレンジカップと日本選手権の間に若干の間が入る予定。

※フリールーティンは次の種目で小休憩を予定する。

デュエット FREE (32組)：16番終了後に10分間の休憩

ソロ FREE (30組)：15番終了後に10分間の休憩

- (2) 練習時間：詳細時間はホームページ「練習日程(予定)」参照。

11月11日(水) 詳細時間は「公式練習スケジュール・グループ分け一覧(予定)」参照。

※公式練習での曲かけ練習は行わない。密にならないよう、クラブ・グループ

別の入替制とする。入場は施設への入場時間、退場は施設からの退場時間を表す。

※密集・密接を回避するため、全日程を通じて曲かけ練習は行わない。

※練習エリアは50mプール競技エリア・競技外エリア、25mサブプールの指定輪番制とする。

※全日程を通じて各競技開始前に練習時間を設ける。全エリア、該当競技出場者のみ練習可とする。「練習日程(予定)」記載の11月12日(木)～15日(金)の各競技入場・退場時間は観覧席からプールエリアへの入場・退場時間を表す。

- (3) その他：

※開会式、開始式は行わず、開式通告のみとする。

※競技進行状況により、競技日程・練習日程に変更がある場合は場内で告知する。

入場時間に変更がある場合は、受付にて案内する。

6 プールの使用について

- (1) メインプール

① 50m×25m×水深2.5m フラット、水温は28℃に設定する。

② 競技エリアの水深は最大2.5mとなるため水深を考慮した演技構成とし、安全に十分留意する。

- ③ 競技時の動線は会場図（別資料）を参照のこと。
- ④ 競技中、選手、クラブ関係者は必要な移動を除いて、メインプールのプールサイドに立ち入ることはできない。

(2) サブプール

- ① 25m×水深 1.4m フラット。
- ② 競技中は出場選手のみ、サブプールで、演技前のウォームアップ（スイム）と演技後のクールダウン（スイム）を認める。

7 施設への入館・退館、プールへの入場・退場について

- (1) 本大会は無観客とする。AD カードを所持する選手、責任者、付添者以外は入館できない。AD カードを持っている者は大会期間中、開場から閉場まで観客席へ入館できる。AD カードを忘れた場合は入場できない。AD カードの再発行は行わない。
- (2) 選手席・付添者は観覧席のみとし、各クラブのエリアを設定する。移動の際は会場図（別資料）に示された動線を守ること。競技に必要な場所には立ち入らないこと。
- (3) 入退館はすべて正面入口（1 箇所）とする。入館はその日の競技に出場する選手と付添者を最優先とし、規制入館とする。
- (4) 入館前に手指の消毒、検温を受け、発熱がないことが確認できたら入館する。入館時の検温で 37.5 度以上あった場合は、別の場所で再度検温する。それでも 37.5 度以上あった場合は入館できない。
- (5) 健康チェック表は、次のとおり提出する。不備や提出がない場合は入館できない。
 - ① 健康チェック表は、毎日入館時に受付へ提出する。
 - ② 責任者が選手ならびに付添者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。未記入の場合、入館できない。
 - ③ 健康チェック表の確認を受け、順番に AD カード提示し、表の提出および検温を行ない、入館する。
- (6) 入館後、全員がまず 2F 観覧席に移動する。当日競技に出場しない選手は観覧席待機のみとし、プールサイド・更衣室への入場は出来ない。プールサイド・更衣室の使用は競技順により制限する。プールエリアに入場可能な選手は観客席からプールサイドを通過して更衣室に移動する。更衣室内のコインロッカーは使用不可。各自の荷物は最小限とし、すべてを名前付きビニール袋に入替サブプールプールサイドへ置くこと。
- (7) 選手・付添者は定められた退場時間までにプールエリアから退場する。競技に出場した選手は、自分の演技終了後、なるべく速やかにプールエリアから退場すること。
- (8) 入館後の退館を認めるが、再入館は AD カードの種類により手順が異なる。屋外での食事、ランドリル等で一時退館する場合も同様とする。
 - ① 顔写真付き AD カード：毎日、最初の入館時に健康管理表を提出。再入館を予定して退場する際、受付で日付入りのシールを貼付する。再入館時に日付シールを提示する。
 - ② 顔写真のない付添者：AD カードの使いまわしが可能なため、入館の都度、健康管理表を提出する。同一人物の再入館も同様のため一時退館する際は注意すること。
- (9) 大会期間中、館内でのミーティング等は控えること。所用後はなるべく速やかに退館すること。

8 施設の使用について

- (1) 館内にいるときは、AD カードを常時首から下げて着用すること。また入退場に際しては、AD カードを提示し、係員の指示に従うこと。館内で紛失した場合は、速やかに責任者から大会本部へ申し出ること。
- (2) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。
- (3) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（できるだけ 2 m 以上）をとって行動すること。選手控え場所・観覧席で、人との距離・座席間の距離を保つこと。着席禁止場所には座ら

ないこと。

- (4) 水泳用具・飲食物・ストレッチマット等は、自分専用の物を用意し共用しないこと。したがって、靴、マイタオル・ハンカチ、脱いだ服を入れる袋のほか、必要であれば自分専用のストレッチマット等を持参すること。
- (5) 練習および競技中、プールサイドへは必要最小限のもののみ持ち込み可とする。各自でビニール袋やナップザックなどを持参し、全ての持参品をひとまとめにし、外から誰がみても分かるようにクラブ名と氏名を大きく明記すること。
- (6) 観覧席は土足、プールサイドは選手は裸足、コーチは内履きの使用可。観覧席からプールサイドや更衣室に移動する際、選手は外靴をビニール袋などに入れ、持参品と一緒に保管すること。
- (7) 選手は泳ぐとき以外、原則として常にマスクを着用すること。(更衣室・招集所・観覧席・プールサイド・トイレなど)。レース前にはずしたマスクは、クラブ名と氏名を書いた袋に入れること。(マスクは、選手イス・脱衣ボックスに直接置かない)。招集所内では、他の選手との十分な間隔をとって、マスクを外すことができる。演技後またはクールダウン後、速やかにマスクを着用するよう努めること。
- (8) クラブ責任者、付添者は、常時マスクを着用する。
- (9) 招集所には、招集を受ける選手以外は立ち入ることは出来ない。選手は、招集所での選手間の会話、レース後の選手間の会話を控えること。
- (10) 館内のコンセントは使用禁止。
- (11) 更衣室について、女子選手・女性関係者は女子更衣室・男子更衣室を使用し、男性選手・男性関係者は、多目的更衣室で更衣する。
- (12) 更衣室は更衣のみの使用とし、ロッカーは使用できない。更衣室の滞在時間短縮と密を避けるため、選手はできるだけ水着着用の上、来場すること。更衣室内を控え場所としたり、飲食をしたりすることはできない。置き荷物は、忘れ物として扱う。また競技会終了後、残った忘れ物は処分する。
- (13) 毎日出場する1種目の髪上げはできるだけ宿舎で済ませて来ること。出場2種目以降や宿泊なしで会場入りする場合の髪上げについては観覧席後方の各クラブ指定エリアで3密を回避した状態で、感染対策を十分に行ったうえで行うことを認める。尚、髪上げのためのレジャーシートを持参し、広げたくて髪上げし、髪やゼラチン、ピン類で床を汚さないこと。
- (14) 競技後のシャンプー、髪下しは宿舎に戻ってから行うこと。但し、競技後、宿舎に寄らず帰宅する場合には、シャワー室の使用を認める。シャワー室が密にならないよう、各自の演技終了後、速やかに行うこと。
- (15) メイクアップは観覧席の指定エリアで行うことを認める。
- (16) ランドリルは屋外で行う。会場内での発声を伴うランドリルは禁止する。
- (17) マットを引いてのストレッチは屋外で行う。
- (18) 会場内におけるチームやトレーナーの活動に関して、用手接触を伴うマッサージやパートナーストレッチなどは禁止とする。運動指導や救急対応(トレーナーの行うテーピング等)は、3密を回避した状態で、感染対策を十分に行ったうえで対応可能とする。
- (19) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (20) 入館後の退館は認めるが、再入館する際は、再度手指の消毒、サーモグラフィーでの検温を受けること。その際発熱等あった場合は入館できない。
- (21) プールサイドから水中にいる選手への大声での指導や、指導者同士の会話は最小限にする。
- (22) 大きな声での会話や声を出しての応援をしないこと。拍手・手拍子は認める。
- (23) 選手・クラブ関係者の飲食場所は、観覧席または屋外とする。但し、プールサイドでの水分補給は認める。飲食については、指定場所以外で行わないこと。食事を摂取する際には個別に摂取すること。やむを得ない場合には十分な距離をとり、対面しないようにすること。また食事時の会話は控えること。ドリンクは各自で保管し回し飲みはしないこと。飲みきれなかったドリンクを、指定場所以外に捨てないこと。
- (24) 選手はプールから観覧席への退場時、水気をしっかりふき取ってから移動する。

- (25) 観覧席退出時の片付けを徹底する。施設内にゴミ箱は設置しない。ゴミ袋を持参し、ゴミはすべて持ち帰る。

9 その他・注意事項

(1) 新型コロナ感染防止対策

日本水泳連盟が定めた「水泳競技会の再開に向けた感染拡大防止ガイドライン（2020年6月15日日本水泳連盟ホームページ公表）」を遵守し、ホームページからダウンロードした「健康チェック表」を毎日提出すること。また、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」をスマートフォンにインストールしておくこと。尚、個人所有の携帯端末の諸事情によりインストール不能な場合はこの限りではない。

感染拡大防止対策に関し、施設内では係員の指示に従うこと。

(2) 主催・主管・大会役員紹介

主催：(公財) 日本水泳連盟

主管：(一社) 山口県水泳連盟

後援団体・特別協賛・協賛各社・協力等についてプログラム参照

審判長：日本選手権＝樋口育子、チャレンジカップ＝山田智子

チーフレコーダー：坂尾国香

(3) ビデオ撮影

競技中は自分のクラブのみ撮影可とする。カメラ席は観客席の指定エリア(報道席隣)とする。

(4) 救護体制

大会期間中、救護スタッフが待機している。選手の健康管理には各クラブで十分注意し、怪我や体調不良があった場合、速やかに救護スタッフに申告すること。

(5) 広報・報道対応

本大会では指定の報道機関、日本水泳連盟広報担当が、各社の要望による演技後のインタビュー取材および公式結果発表後、3位までの選手の記念写真撮影を行う。

(6) 公式掲示板

公式掲示板を、2F 観覧席入口に設置する。

(7) プログラム

プログラムは1部2,000円で受付にて販売する。

(8) 盗難防止

本大会の荷物置き場は観客席の各クラブの指定エリアとする。無観客ではあるが荷物はまとめて盗難防止に努めること。また、貴重品はクラブ毎にクラブ責任者が管理する。なるべく持ち込まないこと。

(9) ヤクルト飲料

本大会スポンサーのヤクルトより飲料が提供される。要冷蔵が必要なヤクルト等はビニール袋を持参の上 大会事務局へ取りに来ることとし、受け取った飲料は直ちに飲むこと。空いた容器は指定のゴミ箱へ分別して入れる。

(10) 駐車場

乗降はプール入口正面、自家用車・マイクロバス等の長時間駐車は北駐車場を利用する。

(11) テレビ放映・インターネット映像配信

テレビ放映は行わない。youtubeによる映像配信を行う。

日本水泳連盟公式 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCILyhI4E7BF3MmPREE9wMEg>

(12) 競技結果の配信

競技結果を、以下の公式サイトにて確認することができる。

SEIKO アーティスティックスイミング・リザルト・速報サービス 2020年

<http://swim.seiko.co.jp/artistic/>

※速報はWEB 掲出のみとし、クラブ毎の配付は行わない。

※公式結果の発表について可能な限り競技終了直後、場内で行う。但し、2大会同時開催のフリールーティン競技については、時間を要することが想定される。

以上